

<錦町・あさぎり町／住民>

日 時：令和2年11月2日（月）12時00分～13時55分

会 場：錦町役場3階会議室

参加者：31名

【発言者①】

錦町第7分館の〇〇と申します。よろしくお願いたします。おおよそ錦町西小学校から西側に球磨中央高校間が第7分館の範囲でございます。

今回の洪水被害では西駅通り、肥後西村駅及び球磨中央高校のソフトボールのグラウンドの周囲が8戸、中福良、線路際なんですけれどもそこが1戸、住宅が床上、床下浸水の被害を受けました。校長先生の住宅があるわけなんですけれども、グラウンドのほうにやっと逃げ出したということでした。そういう切羽詰まった状況がございました。

さて、今回の洪水被害で川辺川ダムができていれば防げたのか、ダム建設の議論がなされています。私の意見でございます。私はもし、球磨川に市房ダムがなかったら今回の豪雨災害はどうだったろうかと思わずにおられません。

私は元職は消防士でございます。川辺川の建設の賛否がなされておりました19年前、ちょうど五木村にございます消防署北分署に勤務しておりました。ダム建設に翻弄され続けておられた住民の方々の苦悩をよくよく知っております。だからこそ川辺川ダムができていたならかなりの治水能力があったのではと思う次第でもあります。とりあえず、避難はできたはず。人災は生じなかったのではないかと、私は推察する次第であります。

最後に、今回の洪水被害で消防本部が被災したことについて、住民の方からなんであんな低いところに消防署を作ったんだろう、救助に行くのに障害があるああいうところに、ああいうところといえば失礼ですけども、その地域にしたのかということを目にしたことがあります。

当時の職員は物故者になっておられるからちょっと失礼なことも申し上げますけれども、職員は何度も調査を行なった結果、他の候補地の瓦屋町や願成寺の高台を希望しておりました。しかし、その時の政治判断でございます。

最後に、どうぞこれまでの治水方法ではどうしようもないことを念頭に、蒲島知事、政治判断をよろしくお願申し上げます。以上でございます。

【発言者②】

今回の球磨川の変わり果てた姿を目の当たりにしまして、今回のように自然の恐ろしさというものを身に染みて感じました。

住民の方々は今後雨が降る度に、大変な不安な思いをされることと思います。そのためには治水対策を早目に進めていただきたいと考えます。

また、今回の災害は球磨川の本流だけでなく、支流の水が本流に流れ、出きらずに、うちの集落17戸ですけれども、全戸が床上浸水になったという状態です。

そういった球磨川を見ていますと、砂利とか砂が山盛りに溜まって、そこに大きな木が林のようになって、周りの川の中に林を作っております。もう、そういうものが水の流れを悪くしているのじゃないかと思えます。

ダムもそうですが、河川の掘削が必要じゃないかと思えます。以上です。

【発言者③】

24区の〇〇と申します。今回の水害で、家屋が床上浸水21戸、球磨川の流域から、市房ダムからの放流の情報がちょっとわからなくて、水位も上がり、下流にあります野間川ともう一つの河川ですけれども、それが氾濫し水害となったわけでございます。

要するに、球磨川の右岸、左岸の掘削、並びに昔の球磨川に戻してもらいたいというような住民の意見もありました。今回は川辺川ダムの建設も慎重によりしくお願いしたいと思っております。

もう、2度と水害なんかを起こしたくないというような気持ちでいっぱいです。

不安な気持ちもいっぱいあります。水害を防ぐためにも、球磨川流域の水の流れをよくして頂きたいと願っております。よろしく申し上げます。

【発言者④】

私は、最初に意見を述べられました〇〇さんと同じ地域に住んでおります。球磨中央高校があるところでございます。私は球磨川とくま川鉄道の水田地帯で農業をやっているものでございます。

川辺川、小さで川の合流地点から7～800メートルくらいあがったところの上流に位置するところで、毎年のように遊水地が発生するようなところでもございます。

7月4日の朝、目を覆うばかりの光景が広がっていました。氾濫した球磨川の濁流が堤防を越え、くま川鉄道も浸水し、住宅地に迫っているところでした。水田には高さ4.5メートルぐらいのハウスが建っていますが、完全に水没をしていました。多分、水位は4～5メートルに達していたのではないかと思います。水田には土砂が流れ込み、今も手つかずの状態でございます。

また今回の豪雨で蒲島知事の挨拶のなかにもありましたように、65名の方が亡くなり、2人の方が行方不明と聞きます。

かつてない甚大な被害をもたらした今回の豪雨災害を踏まえ、一日も早い治水に特化した川辺川ダムの建設と、小さく川の球磨川支流の防災対策を早急に進めていただきますよう要望いたします。終わります。

【発言者⑤】

私のほうからは、下平岩という地区なんですけれども、川辺川ダム建設が最初に計画されたとき、川辺川ダムが中止になる前に遊水地になるというような話で、我が家が完全に水没するという話まで出ていた地域です。

私は川辺川ダムを作ることは反対はしません。でも川辺川ダムが完全に出来上がるまでにまだまだ時間がかかるので、それまでの間にもう少し身近なことを確実にこなして、水害を極力出さないような工夫ができるように努力していただきたいと思うのが私の考えです。以上です。

【発言者⑥】

今回の災害で、浜川地区17戸全戸が浸水をいたしました。今回の豪雨災害におきましては、予想を遥かに超える雨量ということで、我が家の庭に水が流れ込み始めてから数分の勢いで膝まで水位が上がり、やっとのことで避難をしたということでございます。

7月4日の朝の8時ごろでしたので、夕方には水がひいているだろうということで自宅近くに帰ってきたんですが、まだ全戸17戸浸水状態ということで、言葉にならず、ただ茫然と立ちつくしたのを覚えております。

私たちの集落は球磨川と川辺川の合流点のすぐ上にありまして、球磨川の水がひかずにいわゆるバックウォーターによって大きな被害を受けました。

私は農業を営んでいますけれども、農機具約50台ありますけれども全部が浸水し、車も3台全て浸水ということで、災害直後はどうしていいかわかりませんでしたけれども、今度は国、県、町そして多くの方々の支援で、また農業を続けるということを選択したわけでありまして。元の生活に戻るにはまだまだ時間がかかりましてけれども、この球磨川沿いには優良な広大な農地が広がり、私も一農業者として子ども、孫、次世代につなげていくためにも、ダムの建設なくしては、これからの復旧・復興は絶対にあり得ないということで考えています。

私たちが被害者になり、改めてダムの重要性と、そしてまた必要性を感じております。

今、球磨川豪雨検証委員会においては、川辺川ダムがあれば約6割程度、浸水範囲が抑えられたとの報告もあるように、被害の縮小や、まずは人の命を守ることを最優先に考えていただき、2度と同じ被害が出ないように、一日も早いダム建設を願っているところでございます。

また球磨川には先ほど話がありましたように、多くの土砂が堆積しておりまして、川底がだいぶん上がっております。この土砂を取り除く川底掘削によって大きな治水効果もあると思います。

そしてまた、堤防をより強度な堤防にすることで、一つの避難経路になるのではないかなということも考えています。

今、浜川集落全部で再建に向かって前に進んでおりますけれども、また来年も豪雨が来るかもしれないという不安を抱きながらの生活に今できる対策をどうかご検討いただき、私たちの声を聞きとどけていただければと願っております。どうかよろしく願いいたします。

【発言者⑦】

〇〇と申しますけれども、〇〇さんと同様で、専業農家を私もしているんです。農機具が今年も水没したんですけれども、水没した機械がまだ返済中のやつとかがあるんです。それで、いつかはまだ再建まで苦しいと思うんですけれども、今年、相良村のほうでポンプが故障して米が全然取れなかったんです。やはり、川辺川の水をもらいたいんです。そうせんと収穫量が半分以下だったものだから、そこのところをよろしく願いいたします。以上です。

【発言者⑧】

蒲島知事さん、大変な年でございまして、私、民生児童委員をさせていただいてます〇〇と申します。

皆様方、今日はお集まりですが、高齢者あるいは弱者を守る私の宿命でございまして、球磨村の福祉施設におきましても14名の方が亡くなられ、65名の方が大災害で亡くなられたわけでございますけれども、知事さん、今回で4期目のご就任だと思っておりますが、私とあまり年齢が変わらないと思っておりますけれども、就任当時、ダムによらない治水というご発言がなされておったと思っておりますが、この球磨川の清流にそういうふうな治水にかかる部分の準備はできておったんでしょうか。知事さんのほうで考えておられたことがあったのでしょうか。ダムのことでいろんな説明がありましたけれども、計算できない大災害が、線状降水帯というのは私は聞いたことがありませんでしたけれども、今回は7月の3日、4日でしたけれども、また1週間後にそれが来るかもしれなかったわけでもありましたので、例えば、今お話がありましたように、川辺川ダムの合流地点でバックウォーターがもしもなかったならば、錦町の十日市、24分館ですが、それと9分館の浜川地区は、恐らくああいうふうな災害は起きなかったんじゃないかなと、あるいは下流で亡くなられた方々も、あのような大きな災害にならなかったんじゃないかなと私は思っております。五木の住民の方々が、もう恐らく55年か

60年ぐらい前に、ダム建設を願って友人・知人あるいは家屋敷、自分が住み慣れたところで、あるいは移転して錦町にもこられておりますけれども、お年寄りの方々は亡くなって、おられませんけれども、例えば知事さんのあのときにダムが建設されとったならば、この計算のようなかたちではないと思いますが、このような大災害にはならなかったのではないかなと私は思っています。

バックウォーターもなかったのではないかなとっておりますので、一日も早い相良の方々や、五木の方々の念願をお願いし、ダム建設に着手をしてほしいなど私は思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【発言者⑨】

私は社会福祉協議会の職員というより、地元が9分館というところで、そのの浜川地区が水難に遭いまして、同じ分館におります上平岩地区の一員として言わせていただきたいと思えます。

治水対策におきますダムの必要性を考えたときに、個人的にはダムを含めた治水対策、これは必要だと私は思っております。自分自身も錦町で先ほど言いましたけれども、被災されました集落と同じ地区でございまして、すぐ近くを球磨川が流れておりますので、今後のことが非常に心配でございまして。

球磨川上流には市房ダムがございましてけれども、7月4日のダム放流を最大限まで延ばしていただいたおかげで避難もできましたし、それから自宅も床下まであともう2～3センチしかなかったんですけれども、助かりました。

仮に市房ダムがなかった場合を考えてみますと、球磨・人吉全域が今以上に被害を被っていたんじゃないかなと思った次第です。

そういうわけで、ダムを含めた治水対策がこれからは必要になってくるんじゃないかなと私は思えます。

ただ、この川辺川というのは水質日本一の非常にきれいな川でございまして。

ですので、清流が保てるようなそういうダムを作っていただければと考えております。例えば、穴あきダムとどこかで話しが出ておりますけれども、一番いい方法でお願いしたいと思っております。以上です。

【発言者⑩】

錦町消防団の〇〇といいます。どうぞよろしく申し上げます。

今回の7月4日の豪雨に関しましては、私たちは消防団としまして人命救助ということで、行なってまいりました。

というのは、こういう豪雨での浸水というのは初めてのことで、どういったふうに進めていいのかというふうなこともありましたけれども、住民の皆様、そして各地区の区長さん、あるいは今ここにも隣にもおりますけれども〇〇様がお

ります。そのなかから連絡が来るわけですが、ボートとかそういう資機材が非常に不足しております。今回、いろんな方から借りたりとか、例えば釣りをする方から借りて人命救助を行なったわけです。

これがもっとも増えてくるようであれば、それ以上の資機材というのは必要になってくるのではないかなというふうに考えております。

今回の豪雨のなかで一番の問題になっているダムですが、これがあれば数字上、約6割減になるというふうな話もありますけれども、そういったことを前提の上で、今後、考えていってもらえればというふうに私は考えますのでどうぞよろしくお願いします。

【発言者⑪】

錦町消防団第3分団の〇〇といたします。よろしくお願いします。

私も、家のほうが下平岩地区になります。浜川と上平岩からの同分館になります。家のほうも庭先まで水が来ている状態で、出て行くにもなかなか難しい状態で、皆さん避難していただきましたことを今思っているところです。実際に、分館でいきますと一番下の下流域にありますので、球磨川はもちろんです。支川はそこに入ってくる小さく川だったり、小さい川だったり、もうちょっとそちらのほうの末端の配慮を、末端で水が来た場合にポンプを設置して、ポンプで水を汲み上げることも踏まえた上で、検討のほうしていただければと思います。以上です。

【発言者⑫】

錦町消防団8分団の〇〇と申します。今回の豪雨に関しまして、消防団員や住民の皆様からお聞きしたこと、私自身も同じ地区に住む住民の一人として感じたことを発言させていただきたいと思います。

私が管轄している地域は、錦町の中でも球磨川右岸のほうに位置をしております。また一部は川辺川に面する集落もございます。今回のような豪雨では今まで経験したこともなく、家族のこと、住民のこと、活動している団員のこと、自宅が浸水被害に遭いながらも消防団活動に参加してくれた団員も実はおりました。不安、恐怖等、本当にいろんなことを考えさせられました。

今回の豪雨で幸いにも人的被害は管轄内にはありませんでしたが、球磨川沿いと川辺川沿いの集落の家屋や畑、水田は浸水被害を受けました。

その他地域も崖崩れや道路陥没、倒木等、さまざまな被害がございました。

消防団として、発災時の避難誘導や道路封鎖等、消防活動を行いまして、発災後も約1か月間、まだ土砂撤去作業、農地の応急補修とか、そういった活動に参加をいたしました。

これらを踏まえて感じたことなんですけれども、当日は消防団で地区内の危険箇所等、巡回を行っていましたが、朝方より地区内の水位の上昇が始まり、みるみる水位が上がってきました。

まさかここまで水位が上がるとは思っておらず、朝方より避難の呼びかけを行いました。住民の方もここまで水位が上がるとは思っておられず、避難誘導に時間がかかりました。

そのような浸水状況のなか、車両が使えないところではボードや人力で住民の方の避難誘導を行いました。

避難誘導の中で、寝たきりの高齢者の方を福祉施設のほうに避難、搬送した事例もあり、不安、恐怖を感じる団員もおりました。

避難呼びかけのなかで、ある家庭では認知症の高齢者がいらっしゃるんですけども、呼びかけになかなか応じてくだされず、避難に時間がかかった事例もございます。

理由としては、避難をさせたらその認知症の方が不安になられたり暴れたり、大変ということで、同居家族のそういった思いからでした。

今回の豪雨が明け方だったんですけれども、夜中と暗い時間であったら本当に避難等時間がかかり、最悪、人的被害が出ていたかと思えます。

これまで発言させていただいたことを踏まえまして、私から2つ提案を上げさせていただきたいと思えます。

まず一つ目が、球磨川堤防の補強対策。

理由として、私が住んでいる十日市地区の南部、及び、南東部の球磨川堤防が断面積不足ということで、球磨川水系重要水防区域のほうでも指定箇所となっております。堤防決壊の恐れがあり、住民からも不安の声が上がっております。市房ダムの緊急放流があった場合はどうなっていたでしょうか。早急な断面の確保対策をお願いいたします。

また、二つ目には、内水排除対策です。

理由として、豪雨による球磨川水位の上昇にて、同じく十日市地区の南部にある球磨川に面した樋門調整ができずに閉鎖し、堤内地区の水位が上昇し浸水被害がありました。このことで私の管轄では二つの集落が床上、床下浸水を受けましたが、同じく対岸の浜川地区のほうも同じような設備があれば水害がまぬがれるんじゃないかと思えます。

現在も家屋の復旧工事が終わらず、他の地域や親戚、知人の家に住んでおられる住民の方もおられます。早急な内水排除対策をお願いいたします。

以上、提案といたしますが、今回の豪雨を振り返り、自然の怖さを改めて考えさせられました。

親や地域の方からも今まで、ひどいこんな水害は経験したことがないと聞い

ております。テレビやマスコミ等、さまざまな情報では、数百年に一度とか言われておりますけれども、また今後いつ起こるかわかりません。今回の豪雨災害を教訓に、これまで以上に私たちも危機感をもち、私たちが産まれ育ったこの錦町です。いつまでも暮らし続けていきたい地域を、住民の皆様が安心して暮らせる地域を住民の一人として、また、消防団として、郷土愛の精神のもと、使命感のもと、守り続けていきたいと強く思っておりますので、早急な治水対策をどうかよろしく願いいたします。私からは以上です。

【発言者⑬】

私は10月15日の第1回目の集会にも参加させていただきました。

その際に、ちょっと言葉足らずの面がありまして、一部誤解を与えていたようでございますので、その辺を確認させていただきます。

私もまずダムを前提に話をいたしました。

今回の災害はダムがあっても、被害はまぬがれなかったということでございます。

それだったら、私たち水田を持つ土地改良区として、何がダムを補完できるのかと考えた場合に、水田の持つ貯水力を高める。いわゆる畔をもう少し上げたり、その代わりいろんな条件はあります、という話をいたしました。

これが水田の持つ多面的機能の最たることだと今でも思っております。

次に、錦町の被害状況です。冠水した水田が約130町。そのうち収穫が皆無という田んぼが約30町。

取水堰、頭首工、揚水機場の機能不全に陥ったところが13箇所あります。

それから、法面の崩れ等約200箇所あります。軽微なところについては、多面的機能の事業のほうで取り組んでおりますけれども、多くがまだ手付かずの状況であります。

もう農家個人ではどうしてもできませんので、ぜひ、来年の田植えに間に合うようにぜひ、当局のほうで頑張ってくださいと思っております。

次に本題を、この地域の治水でございます。

先ほど資料の中でもありましたけれども、遊水地案、これは土地改良する人には絶対受け入れることのできない案でございます。

流域の田んぼを4メートルから8メートル下げるという話です。絶対こういう案は受け入れることはできません。

今回、川辺川ダムがあったら、60%の水がカットされたということでございます。仮に50%のカットだったとしても多くの被害はまぬがれたと思います。

過去のダム論議で、ダム推進者はイコール環境破壊者というような世論が形成されてしまいました。今回、流水型ダム、流れダムと言いますか、そういった

新しい発想もあるようでございます。これが可能なものだったら、こういうものを検討していただければと思います。

ダムがあったら私たちのこの大切な住まいの環境、それから道路環境、鉄道環境、そういった環境を守れたと思います。

ダムがなかったばかりに、一瞬にしてそういった美しい環境が壊れたものとは思っております。

政治の一番の仕事は人々の命と財産を守ることだそうでございます。トップに置かれましては、躊躇なく、そして早急に判断をいただければと思います。それと上流下流の、例えば掘削だとか、堤防のかさ上げとかしても、どうしても人吉と球磨村にしか流れてこないわけです。

下流の人がどれだけ迷惑をこうむるか、それらも考えた今回の治水対策を練っていただければと思います。よろしく申し上げます。

【発言者⑭】

あさぎり町の区長会の〇〇と申します。今日はお世話になります。

私は今度の豪雨でこれだけ、球磨川の水位が上がったのは、初めて見ました。

もうあと30センチぐらいで堤防が越えるぐらいの水で、なんとも言えぬような感じを受けました。

そういうところで私が考えたのは、もしもダムがなかったならば、まとまっている水がきたのがそれ以上に溢れ、地域、私たちは免田地区ですが、地下というところが球磨川沿いにあるんですが、そこも恐らく水に浸かったのではないかと想像します。

いわゆる急に流れるところ、それと水の流れがいいということは、今、道路整備もされているし、川の整備もされております。

昔は、草とかなんかいっぱい浮いていて流れが遅かったので球磨川はゆっくり流れてきていました。それが急に流れてくるもので水が増えるのは当然。

その意味でも、各小さな溝も、そういう大事な整備じゃなかろうかと思っております。私が一つ考えるのは、小さなことですが、水害に遭う地区は別として、その水田に10センチから20センチ、そのとき水溜め運動を、上げて、それだけでこの面積で10センチにすれば、相当の水の量だろうと思う。それを自然と流すならば、それも防災のためになるのではないかと考え、そういうことで私たちの地区はたばこが多いところですが、たばこの浸水で、もう私が5時頃、ずっと注意して回って、ちょうど堤防が開いたとき、水門があり、球磨川から大水が出たときに止める。その水門からものすごい勢いで中に入っていくのです、球磨川が。堤防いっぱい上がっています。水門係の人がいたもので、その人に大きかったから、この水を止めろと申しました。

そしたら止めました。それが止まったときに、今度はそれだけ球磨川が押し上げていました。それが、うわーっと球磨川の水ごと、今度は流れていく。そういう圧のかかる球磨川ですから、とにかく一番大事なのが、やはりダムの大切さというのが一番にわかりました。

もしも市房ダムがなかったならば、そちらも相当なところが今以上に被害が遭ってるんじゃないだろうか。

そういうことで、知事が川辺川ダムを建設するという方に行っておられるようですが、これもぜひ必要なことと思います。

そういうことで、ダムは明日できるわけじゃないですので、その前に川の整備、堤防の整備、そういう水門の考え方がないかなと思うんです。あれだけ水が入ってくるということは、堤防が氾濫していなくても水害に遭うということです。そういうことを考え、川の整備に力を入れてもらいたいと思います。

それともう一つは、くま川鉄道もそういう水で氾濫にあっています。鉄橋が流れたとか、そういうことでくま川鉄道も私たちが30日だったか25日だったか、掃除はしました。

あさぎり町全体で担当が分かれ、そのときにたった3か月であれだけ荒れるのかと。もう、特に鉄道の石の間に根を張って。それと、かずら草とか、あれが出るぐらいで吹き上がっていました。

あれが、本当に1年も続けば、レールは見えんようになると、そういうこともあるもので、くま川鉄道のほうもぜひ早めに復旧してもらいたい。できたら錦湯前線、あそこだけでも復旧してもらえば、これは将来的には、近いうちに枕木が腐れていくと思います。枕木はもう本当にダメになっていたところもありました。荒れ防止のためにも、そちらのほうにも頑張ってもらいたいと思います。以上です。

【発言者⑮】

あさぎり町から本日は参加をさせていただきました。

3分間という話も聞いていたのですが、2分ということで、1項目は削除したいというふうに思っています。

まずは私が当初、川辺川ダムの建設の話がありましたときに、そのときは人吉のほうに勤務しておりました。

そこで私が思い出したんですが、労働組合を挙げて反対ということで、そういう立場をとってきた一人でございます。

なぜならば、五木村の住民の方の思いと、それから自然を守るための運動ではなかったなというふうに思っております。

ただ、このような被害がありますと、真剣に考えていく必要があるというふう

に思っております。

今は、まったく反対の立場で、反対というより、賛成ということで、昔と違って賛成ということで考えております。

いろいろありますけれども、ボランティアの活動にも参加をさせていただきました。

そして被害状況を目の当たりにしたということと、被災者の顔を思い浮かべますと、やはりなんとか、今はしなくてはいけないのではないかというふうに思っております。

それにはこの治水です。ダムが不可欠じゃないかというふうに思っております。もし、ダムがあったらということで、61%の被害が抑えられたというふうにも聞いております。用地買収も済んでいるというふうにも聞いております。

並行して支流の話も出ておりますけれども、治水対策も早急に取り組む必要があるのかなというふうに考えております。

まず、今考えていることは、下流の人たちを安心させていただきたいということです。

それから一番大切なこと、人の命、それから財産、こういったものが私は一番大事なことというふうに考えております。以上でございます。

【発言者⑯】

あさぎり町区長会の〇〇です。

7月の豪雨は大変でした。要援護者を民生委員と一緒に救助に行きました。無事、救助し避難施設に運びました。今は、息子さんの神奈川にいます。

それから、川がありますけれども、なんでここだけ越水するかなと思って見ました。蚕畑と葉たばこ畑でした。

川を下ってみると、水が全然流れません。

なんでかなと思ったところ、足場がありまして、それにて越水しておりました。

百太郎溝に近づくと、県道まで水が上がっていました。

そういうような中、対岸を歩くと老健施設がありますが、そこは守られていました。その下の下流に行きますと、やはり床上浸水がありました。

球磨川が流れています水域においては、床上浸水があり、大変だったろうと思います。

ほかには長岡地区で、幸野溝に山からの濁流が流れ込み、床上浸水が出ております。

上水道にも被害がありまして、断水しました。

水源地が2つありまして、第1水源地は水道管破裂。第2水源地は取水口。土砂埋設が起きました。

水源地は山のほうにありますので、林道が破損し水道管にも被害が出ました。熊本市からの給水車がきまして、乗り越えた次第です。

また、井口川では、橋が堆積し、水の流れが変わり、越水し、農作物に多大な被害を与えています。川底を広げて浸水しないようにしてほしいです。

今回の豪雨では、山林のあり方を考えるべきかなと思っています。ダムがあってもなくても、ダムで全ての被害を防ぐことはできないかと思います。

二度とこのような被害が起きないように対策を考えていただきたいと思いません。

【発言者⑰】

寺池の〇〇といいます。

まず、柳橋川の改修工事をやっていただきたいと思いません。球磨川の支流なんですけれども、柳橋川からの越水で武原、中島、そして川瀬が水上がりしました。川幅を広げてもらうか、堤防を作っていただきたい。

そして、一番の原因というのが、球磨川にあります石坂の堰の改修工事をやってほしいです。川底の砂利がやはり溜まっています、堰があるので川の水位はどうしても下がらないと思いません。砂利を撤去しても。川瀬地区は毎年のように水害にあっております。

床下ではありますが、たばこ農家の方々も水害に遭っています。

堰を壊してくれまですとはいいませんが、作り変えていただきたい。床下浸水ならまだ我慢できるという話を聞きます。床上以上はちょっときつかったらしいです。以上です。

【発言者⑱】

植の里地区の〇〇です。

今回の7月豪雨では、私たち植の里区においても、7戸の床上浸水の被害が遭っております。今なお住宅の修復工事が行われているところです。

また、植の里区における洪水被害の原因につきましては、町、当局でも検証されているものと思いますが、球磨川支流の田頭川から溢れた水が、通常なら木上溝を通して排水される場所、捌け切れずに水位が上昇し、浸水に及んだものであり、一時期は球磨川より30センチ以上水位が上がっていたとの話も聞いております。

また、農作物についても、排水路から溢れた水が農地を洗い、水稻や施設園芸、特に菊ですけれども、被害を及ぼしています。

こうした状況を踏まえ、今回の洪水被害から考えられる川の面での治水対策として、まずは球磨川本流の水位を下げる対策が基本となりますが、田頭川にお

いても堤防のかさ上げが必要と考えられます。

また、錦町土地改良区においても、木上溝の隧道調査が行われたとの記事が新聞に掲載されております。

土地改良区のほうでも、今後の対策等を検討されたものと思います。

以上で、簡単ではありますが、報告を終わります。

【発言者⑱】

あさぎり町民生委員児童委員協議会の〇〇と申します。よろしく申し上げます。

私からは町内の福祉サービスの状況等の報告と、民生児童委員活動のなかで感じたことを述べさせていただきます。

町内の福祉施設、保育所・認定こども園等の児童福祉施設、特別養護老人ホーム等の社会福祉施設で業務に支障をきたすという被害はございませんでした。

発災後と発災前と同じ通常の業務を各施設、被災直後から行っております。

また、民生委員児童委員に対する相談についてですが、発災後、役場や社協さんなどへの意見調整等、問い合わせ等は増加しておりますが、緊急機関、専門機関、緊急につなぐ必要性がある重篤な事例というのは生じておりません。

以上のとおり、町内の福祉サービスについては、7月の豪雨の影響は少ないかと思いますが、民生児童委員活動のなかで感じている、または寄せられる意見として、くま川鉄道の早期復旧を望む声が多くあります。

この地で暮らしていく上での安心感を与えているものだと改めて感じております。早期の復旧について、ご配慮をいただければと思います。以上です。

【発言者⑳】

あさぎり町PTA連絡協議会の〇〇と申します。よろしくお願いいたします。

豪雨災害後、あさぎり町PTA連絡協議会のほうで、生徒及び先生方の被害状況を調査しております。

生徒及び先生の住宅が一部床上、床下浸水したというところで確認をしております。

私はあさぎり中学校ですので、中学校では学校で使用する教材、また制服等の提供を、卒業生、また現在の保護者のほうに募りました。

提供いただいたなかで、サイズの合う制服等を支援しております。

また、合わせてPTAよりお見舞い金として、被災された保護者、先生方へ支援を行っております。

PTAといたしましては子どもたちへの心のケアが大事だと考えております。特に、被災した子どもたちは、水に対するトラウマ等も考えられますので、長

期間にわたるメンタルヘルスケアは必要と感じております。

また、今回の豪雨災害を目の当たりにして、災害に対する意識、気持ちもかなり変わってきているかと思しますので、子どもたちに対する防災教育もより一層力を入れていただければと思います。以上です。

【発言者⑳】

あさぎり町消防団の〇〇です。よろしくお願いします。

私のほうからは幸野溝、百太郎溝の改修を早く行っていただきたいというふうに思いますし、また、上流を整備しても下流が整備してないとどうにもなりませんので、下のほうから整備をしていただければというふうに思っております。

それと川辺川ダムに関してですけれども、治水が60%できたというようなのもありますし、また、もし利水事業ができていたならば、私たちあさぎり町に新深田という地区があります。そこは高台で3年ぐらい前に火災が起きました。水がなくて、下の地域から防火水槽を4つくらい空にして、水を送って消火したということがあります。できれば利水のほうをよろしくお願いしたいと思いません。以上です。

【発言者㉑】

あさぎり町消防団深田地区の〇〇と申します。よろしくお願いします。7月4日の豪雨の話ですが、私たち7月4日午前2時40分に、役場から川の水量を確認してくれというメールが来ました。私は走っていきましたけれども、そのときには地元の田頭川、既に越水しておりました。ということは、時間が経てば経つほど、それよりも下の地域は浸水するという気持ちでおりましたところ、午前6時、旧深田中学校南側にヤギをたくさん飼っておられるところがあります。その人が胸まで水に浸かってヤギを救助しておられました。

8時に市房ダムから放流するという話がありましたので、それまでには逃げてもらわないといかんということで、再度上がってくださいという話をしました。がなかなか上がってもらえませんでした。

しかし、やはり水に濡れて寒かったんだろうと思います。自分から上がられて、諦めて自宅のほうに帰られました。その後、先ほど、植の里地区の〇〇さんからもありましたが、7軒ほど県道33号線を水上方面から見たときに、ちょうど一番低いところがあります。そこがもう既に県道が水浸しになっておりました。本当に、先ほど言われたとおり、球磨川の堤防から1メートルもないほど田頭川の水が氾濫し、本当に球磨川堤防が決壊するのではないのかなということを感じました。

これにどうしたら対応できるか、私なりに考えましたけれども、今、治水、支

流を球磨川に対して見ていくと、直角に近い角度で支流が球磨川にあたっているところが多く見られます。そのところが多く氾濫しているという可能性があるのではないかなと思いましたが、球磨川に対して少し斜めに河口を切ってもらって流れるように進めてもらおうと、少し水が溜まるのが少なくなるのではないかなというふうに感じました。

それと、深田地区の古町橋からその上、上地区から流れる免田川の間にはちょっと硬い岩盤が球磨川の下にありまして、そこが全然手つかずで、掘削してありません。その岩盤を取り除くことによって、少しは水位も下がってくるのではないかなと思いますので、今、やらなければいけないことはダムとかの話ではなくて、球磨川の底を削って少しでも水の量をスムーズに流すことだと私は思いましたので、強く願います。

そのときの写真も持参しましたので、後からお渡ししますのでご確認お願いします。以上です。

【発言者⑳】

あさぎり町消防団須恵地区の〇〇です。よろしく申し上げます。今ありましたけれども、先ほど〇〇さんから話されましたけれども、寺池地区、川瀬、寺池です。川瀬地区については、毎年大雨が降ればある程度の水位まで上がるというところで、消防団は必ず伊賀川のほうの水を見に行くというような状況でありまして、今回の7月4日も、夜中の2時、3時前に出たときには、一軒が床上まで浸水していたという状況で、国交省の排水用のポンプが置いてありますけれども、それでも追い付かないと。あれだけの雨ということで、ポンプも途中で煙を吹いて駄目になったと。そういう状況で消防団で対応できる術はほとんど夜中の段階で無くなったと。避難の呼びかけというような状況のなかで、朝、先ほどありましたけれども、6時くらいに川瀬地区に行ったときには、消防、警察のボートで救出をされていたというような状況がございました。

考えるところでは、先ほどから出ていますけれども、球磨川本流では、支流から入ってきて水がはけきらないというのが一番の要因だと思いますので、その辺の掘削、道路の整備を、しっかりしていただいて、先ほどうちの〇〇からもありましたけれども、下流までの水量を考えながら、その辺の掘削をしていただければと思います。以上です。

【発言者㉑】

皆様こんにちは。お世話になります。私たちあさぎり町におきましては、特に須恵、深田、免田地区におきまして、農地、農業用施設、それから農業機械などが水没などして、特に球磨川流域にありますけれども、被害が大きかったです。

また小中河川においては、橋の欄干に流木などがひっかかり、氾濫の原因となりました。

今回の豪雨は今までに経験したことのないものです。自然の猛威に人間の力は弱いものです。報道によりますと、ダムがあれば6割の被害を防げたと聞いております。私は治水対策としてダムは必要と考えます。また、日本の国土の3分の2が森林、いわゆる山なのです。特に、山に降った雨水を耕作放棄地、遊休農地などを利用して、流木、土砂などを一時的に溜める調整池、遊水池を造るなどして、直接、小中河川に流れ込まないような対策をお願いします。そしてまた、川底の土砂除去、工事など、早急な対策として行っていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

【発言者⑮】

上村土地改良区の〇〇です。私どもの土地改良組合では、球磨川の支流、免田川の上流に県営の清願寺ダムがあるわけですが、そこから白髪岳の山麓沿いの農用地に農業用水として、清願寺ダムよりパイプラインで水を引いて活用しているわけです。また、ダムから分かれた水ではなくて、山麓沿いの農地ということで、免田川に3本の河川があるわけですが、そこらあたりからも農業用水として、組合では6か所ほど取っているわけですが、今回の豪雨によりまして、その全てが取水できないというような状況に陥ったわけです。また、ダム自体も、ダムから引いている水、用水路の取水ができないということで、約20日、25日ほどですか、組合の皆さん方にはご迷惑をかけたわけです。そして、県のダムの担当者の方からの計測によりますと、ダムに今回の豪雨によりまして土砂の流入量を聞いたわけですが、27万立米というような数字が出ているわけです。それを撤去するのに、費用が30億から40億は要るだろうという話を聞いたわけです。

また、ダムの上流の土砂ばかりではなくて、ダム湖に約3メートルほど土砂が堆積しておるといようなことも、継続してわかったということを知っているわけです。

そういうことで、多分以前にも清願寺ダムは平成19年から2回にわたって土砂の浚渫、排斥等をしていただいているわけです。そして平成29年から30年にかけては、ダム湖にたまった土砂も除去、排出してもらったわけです。そういうことで、私どもの組合では、貯水量が相当増えたと思っていたわけですが、今回の豪雨によりまた埋まってしまったわけです。

現在では異常気象が毎年のように発生しているわけですから、これが来年の夏、一番、水稻に水が必要な時期、7、8月ごろに干ばつでも起きたら、20日も1か月も降らないということになったならば、ダムの水は当然枯渇するのは

目に見えております。

そういうことで、私たちの要望といたしましては、県のほうで浚渫を早くしてもらいたい。そうでなければ大変なことになっていると思っているわけです。また、ダム本来の目的ですが、防災機能だけでなく、灌漑機能も大幅に低下しているということがわかっておるわけです。

それから提案といたしましては、今後は治水対策も本当に必要です。ところが、治山対策、山の管理です。このあたりをもうちょっと県でも本腰を入れてもらって、対策を、林業関係者だけでなく、地域住民、皆さんでもうちょっと考えていかなければならないだろうと思います。

常時水位が266.6メートルですが、ダムの水位が、これがもう同じ266.6メートルを保っているから大丈夫ということは絶対言えませんから、よろしくひとつお願いしたいと思います。以上です。

【発言者②⑥】

私は中球磨土地改良区の〇〇です。私たちの水路は、あさぎり町から錦町のほうまで流れているわけですがけれども、球磨南部という関係で、百太郎・幸野と私たち3土地改良区で球磨南部土地改良区を作って、連携を取りながら、今度のような雨が降る場合には、市房ダムの取水を止めてもらって、途中で落としてしまって、溝には水が流れない状態にしてもらっているわけですがけれども、ここ3年間、去年、一昨年も小さな山の谷あいから流れてくる土砂が溝のほうに入って、去年と一昨年はうちの管内で150台前後だったのですがけれども、今年の場合は300台を優に超える排出をしたわけです。

私が県に要望したいのは、今こういう錦町、あさぎり町の一部から錦町を通過して人吉の大畑のほうに、その山の下に南部道路が通っているわけですがけれども、これがもうかなりの期間、完成せずに、格好だけ作って放置した状態のところがあるわけです。ここら辺が早く完成してもらって、土砂吐をつくってもらったら、流入量ももう少し減るのかなと。

それと、森林のほうで伐採の時期にきて、かなり木を切り出しなんか行われているわけですがけれども、山のほうで今、機械を入れる関係で、林道を急々につくって機械を入れる準備をしていくわけです。そのなかで後の手当てが悪いせいか、雨のたびに林道の土砂が小溝に流れ込んで、今まで林道がなかったときには土砂が流れ込まなかったところでも、土砂が流れ込んで、それがもう本溝のほうに流れ込んできます。その関係で、私たちとしても大変迷惑しています。その関係で、逆に本溝の上からの水を止めておいても越水が起きるという状態がかなり増えるものですから、そこら辺の山のほうの対策と、それからできたら小溝の、溝上くらいに、せめて少しでもいいですから、土砂溜めなんかを設置してもらえ

ればと思います。よろしく申し上げます。

【発言者⑦】

たばこ耕作組合の中球磨の〇〇といいます。今回の7月4日の豪雨によって球磨盆地ならではの地形において、たった一日足らずで死者65名、そして行方不明が2名、家族の方々のことを考えると、本当に涙が出てくるところです。どうも心中お察しします。また家、農地、道路等の被害も、そして今も避難生活をされていることを聞きます。普通の生活に早く戻れるように、支援復旧のほど、強く申し上げます。

近年、温暖化のなか、地球規模で異常気象、線状降水帯が頻繁に報道され、どこかで甚大な被害が出ています。来年、また出るんじゃないかと、私たちそう思っているんじゃないかと思えます。そのなかで、市房ダムが多目的ダムとして、稼働から60年、農地が潤い、農業が発展し、球磨人吉が栄えてきたと思えます。本当にありがたいと思っております。

しかし、梅雨時期になれば、市房ダムも降水量が増えてくれれば予備放流をしなければならぬと。今回は特に先ほどのページの8ページに、4日の2時頃、予備放流をしていると書いてあります。

2時頃と書いてありますので、どの辺かわかりませんが、明け方には線状降水帯で水量が増えたかと思えますが、含めて市房ダムの放流でも結構水位が上がって、特に下流の錦、人吉、球磨村、相良、あの辺も甚大な被害を受けたのではないかと思っております。

私たちも中球磨のたばこも、あと一か月足らずで、8月の頭には収穫を終えて安心するところだったのですけれども、7月4日の雨で全然収穫ができない農家も、本当に腰が砕けるような、涙が止まらないような方もおられました。

どっちかといえば、私も川辺川ダムは賛成で、早くしてくれれば、下流の人吉、球磨村、八代に、全然災害がないとは言えませんが、最低でも避難できる時間稼ぎはでき、尊い命を守ることができるのではないかと思っております。

今回、農家の立場として出てきて、あさぎり町、錦町の農作物の、被害の頻度が多かったたばこ農家でございます。たばこ耕作組合が237名で、4,588アールしております。そのなかで214名が浸水被害を受け、約3億7000万円の減収になっております。

中球磨支部においては、そういう意味では、あさぎり町のなかでも、免田、深田、須恵で構成されております。球磨川の左岸1.5キロ以内で、33名、6,300アール、一軒あたりが200ヘクタールでたばこを栽培し、21名、1,700アールが浸水の被害で、そのなかで全然収穫もできなかった農家もおら

れます。

今回の水害で、耕地の変更を考えなければなりません、実際、たばこの土地として、余っている土地がないし、みんな左岸のほうの優良農地ですので、フルに活用している農家がほとんどで、後継者も結構多いです。今、どこそで遊水地という話が出てきておりますが、下流の人たちに申し訳ないが、遊水地として取り扱われれば、球磨で農業をやっている後継者たちがまた減っていくんじゃないかと、農業が衰退していくんじゃないかと思っているところでございます。

昔は50年、100年ごとの災害といわれましたが、このような温暖化の時代、来年も水害が起きたら本当に生活ができないと聞いております。過去3年間は平均すると、10アール当たり15万の減収、33軒の農家で1億円の減収となっております。

私の立場から3点ほど要望を出したいと思います。

豪雨災害が予想される時は、市房ダムは治水ダムとして早めに対応を行ってほしい。あれだけ増えれば、早めに、今、アメダスとかいろいろ天気予報とか事前にわかっておりますので、それに早めに対応してほしいと思います。

そして、二点目が下流の災害軽減のために、川辺川治水ダムをつくってほしいとお願いしたいと思います。

三点目は、球磨川の川底の掘削と、先ほど言われました須江と深田の間にある石坂堰の早急な対策を国に働き掛けてほしいと思います。以上です。

【発言者⑳】

僕は一応開拓で、元飛行場のところに移り住んで、土地を持っている者です。

皆さんの意見で、全部、聞いたから言うことがあまりないのですけれども、先ほど説明にあった1ページに、40年、57年、2年、今年と、雨量のこの形態からすれば、このような状態では、温暖化が今進んでいるなかで、またこれ以上の雨が降る可能性はないとも言えないのではないかなと、僕は思うのです。

それと、今度はこれと水田が構造改善事業で、用水路、排水路が全部できました。あの水が一気に球磨川に流れてくるんです。

昔はそのまま地掘りだったから、畑はすうっといく。田んぼそのものも吸っていました。構造改善してブルドーザーで土をしめて、麦もできないような状態のところもいっぱいあると思います。その水が流れてくる球磨川、川辺川そのもの大きい川が掘削もできないまま、自分たちが子どもたちのときに遊んでおって、川遊びできたところも今は砂利で、砂利が1メートルも、1メートル50も溜まっている状態のところがいっぱいあります。それと今度は深いところがあったのも、全部砂利でほとんど埋まっているような状態だと思います、今は。

それを早く解決するために、今、皆さんダムがあったほうがいいという方のほうが多いみたいですけれども、自然を守るためには、営林署が減っていったせいで、山が荒れてしまっているんです。保水力がない。保水力がないから雨が降ったら、いきなり川に全部流れてくる。だから川の水はオーバーしていくのではないかなと思うのです。

だから、やはりもともとからすれば、山を守り、育てていって、はじめてのあれじゃないかな。先ほど誰かが森林伐採のときのユンボで掘ったという、その流れ。流れて川にいきなり来るはずです。細かい川にあるやつは、大川に流れてくるのです。それがまだ出て、溜まっていく。それが今まで砂利を掘削してあるところを見てみると、自分たちが見て、こんな唾つけみたいな感じくらいになって感じなのです。溜まった量からすればですね。それをやはり、一日も早く掘削して、狭いところは少しでも広げて、そこから移転してもらわなん人にはよく、心から語って、同意したところに、一番いいところに移転効果もありながら、いかに清流球磨川を活かしながらのあれをやってもらいたいなという気持ちで、今日は参加させていただきました。以上です。

【発言者⑳】

あさぎり町から来ました〇〇と申しますけれども。私にマイクが回ってきたら何を話そうか、こういうことでしたら、一分間。私は立場的には本当に一般人、フラットです。ですから、ここに提言する内容は直接的にはございません。細かく考えるとところはありますけれども、人よりも全然違った内容からお話しあげます。

いろいろお話を聞いておりました、私が一番共感したのは、最初のころだったのですけれども、窓側におられる方から線状降水帯についてお話をされました。私はほとんど同じ内容です、考え方は。

それで、なぜこれを申し上げるかといいますと、この資料はすごく立派に作られて、本当に大変ご苦労されているのだなという感じがこれでわかります。

しかしながら、なぜこういう対策を行わねばならないのかという原因は何だろうかと突き詰めたときに、今回の豪雨は私なり関心があるところでいろいろ調べたりしますと、線状降水帯が異常降雨によって西から東のほうに流れていった。たまたま、本当に最悪の事態がこの人吉の球磨川流域で起こったんだなというのをずっと考えておりました。

この原因は何かということ、どのように突き詰めておられるんだろうかということで、この資料の一番最後にありましたけれども、有識者会議メンバーということで、本当に錚々たるメンバーで。ここの結論は、有識者メンバーの方たちも、こういう時代になるには可能性が十分にあるというふうを考えておられ

て、この提言がなされたのだらうなというふうに考えられますけれども、この具体案がわかりません。

この資料のなかに、線状降水帯の元となった原因というのがちょっと表れていないのかなということで、ここら辺の、例えば今後同じような災害が5年先、10年先、50年先、100年先じゃないか、1000年先じゃないかなという結論みたいなものがちょっと見えません。多分難しいと思うのですけれども。せっくならば、この辺の可能性が30年以内、いや100年以内ならあるということ、何か資料で明確にされたほうがもっとわかりやすいかなと、私個人的にはそういうふうに考えております。以上です。失礼しました。

【発言者⑩】

私はあさぎり町で川辺の〇〇ですけれども、私の家は家の後ろから堤防で、20メートル先は球磨川という非常に近いところです。そういったところで今日はこういった説明会でお話を聞く会があるということで、人吉新聞で知ったわけで、それで今日ちょっと一言、言わせてくれないかなということで来たわけですけれども、先ほどからお話にありました寺池区の〇〇さんと、こっちの消防団員の方からお話ありましたとおりに、私の家あたりは昔から水害の常襲地帯ということで有名なところです。そういうところでありまして。地形的にも、治水対策として、ちょうど私の家から下流に600メートルくらいのところに、石坂堰という堰があるわけです。堰が水位を上昇させている原因にもなるし、〇〇さんは撤去とまでは言わないけれども、と言われて、私は撤去してほしいと強く望んでいます。あれがなかったならば完全に、きれいに水は引いてしまうわけです。

だから、あれがあるおかげで、水がどんどん来て、引かない。上から来た、その上にまた、伊賀川という大きな、水量の多い川があります。その川の水が、球磨川が高くなってきたら、もう外に出きらんわけです。だから、もう詰まってしまって、水も行き場がなくて私たちの地域にどんどん増えて上がってくるというような状況です。

だから、伊賀川の水が出る場所がないということが原因です。どんどん増えて上がっていきます。だから、そこで伊賀川の水がはけるような対策を作っていたきながら、石坂堰がありますから、あそこから下はどんどんはけます。だから、堰まで行く間に溝か何か作って、堰の下まで落とすような、石坂堰を撤去せんならば、そこに水が出るような川を作っていただければと思って。そうすると絶対に水は上がらないと、私はそう思います。

だから、今後また、大変な水も出るかと思えます。2倍、3倍来てもそれを石坂堰を撤去して、伊賀川を石坂堰のところまで出してしまえば、もう絶対に水は上がらん。心配ない。私はそのように思います。以上です。

【発言者③】

今日は突然この会に参加させていただきました。被災者の一人でございます。〇〇といいまして、あさぎり町のこの図面の中に赤い色で差していただいております、伊賀川の注ぎ口の、すぐそばに住んでおります。事情的なところは、先の方が何人かおっしゃられましたけれども、私からも一言。

私の近くに球磨川の築堤がなされたのが昭和42、3年頃、川瀬橋の付け替えが道路も含めて昭和44年となっております。私の住まいが、伊賀川の注ぎ口のところです。あそこら辺の内陸の水が集まるのが一番最初で、一番たくさん集まる位置であります。その水を（聞き取れず）対応を取っていただきたいということで、今から遡ること何年のうちに、今年は床上浸水しました、床下を含めて宅地に上がること、5、6回、そんなふうで毎年雨期になりますと、心配が絶えません。何とか今までも申し上げてお願いしていくなかで、伊賀川上流にも300メートルくらい入りましょうか、須恵溝という基幹があります、球磨川で。球磨川の水が増えると、もちろん内陸のほうも増えるわけですが、内陸に入らないようにすぐ樋門の門を閉めます。そうすると、閉めましたら、その須恵溝から来る水のはけ口の対応ができていません。その水は私の近くの伊賀川で、処分とかそこに負担がかかってくるわけです。

最近になりまして、国交省だと思いますが、移動式のポンプでくみ上げていただいたわけですが、その汲み上げ方法としても、人様のなさにケチをつけるのは失礼かと思っておりますけれども、樋門を開けた状態で、球磨川の水位は高いのに、どんどん汲んで、やっと人の手を使って汲み上げるわけですが、それが他にはあるのかなと、疑問に絶えないわけです。

そうした時期で、本当に毎年毎年、心配が絶えないわけですので、せめて宅地まで浸水しないような対応策、方法は私は知りません。早々にさせていただきますことをお願いします。終わります。

(以 上)